

昭和二年一月廿四日 眞崎大和鉛筆株式会社 大井工場  
職工一同

各位

別記  
諸兄よ聞け...

近頃社長は己水の悪徳、悍猛なるを顧みず部下の輕輩夫も其の味  
々の中に毒爪を磨き吾等を一握にせんと謀る日、憎くても然る  
る彼を徹底的に屠らん共に起てよ!! 来れ諸兄!!  
吾等は飽迄豺狼の如き彼を屠らん、世の爲、人の爲なり!! 吾等の榮  
ひ根を断つは今なるぞ、起てよ諸兄彼に砲彈あらは吾等にも亦肉  
彈あり、吾等は倒れて後止むの決心より倒れても亦生れて彼を屠  
らん、吾等の苦痛は彼の爲、此敵倒せ一刻も早く。

寫

勞務第三一六號

昭和二年二月十日

警視總監 藍太 田政 弘

内務大臣 陸海代理  
逓信大臣 安達謙藏 殿  
社會局長官 長岡隆一郎 殿  
京都大阪神奈川兵庫愛知  
福岡各府縣知事 殿

2. 2. 12  
2. 2. 110  
762

眞崎鉛筆會社勞働爭議ニ關スル件

(第四報 解決)